

科目名	車いす・座位保持学			授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 「シーティング」とは、座位姿勢を保持するための中核となる技術であり、そしてノウハウである。 本授業では、車いすの基本構造を把握し、疾患に対して適応となる車いすの種類と構成要素の知識を習得し、正確な採寸、適合技術の理論をする。また、付随して座位保持装置についての基本的な構造についても理解を深める。								
〔授業全体の内容の概要〕 講義：車いすの適切な姿勢と評価、ポジショニング。車いすの構成と採寸・適合技術の理解。座位保持装置の基礎知識。 演習：身体評価法、採寸法、車いす・クッション比較、症例検討。								
〔講師の実務経験〕 義肢装具士として、川村義肢株式会社に勤務。義肢装具の採型適合業務、福祉用具・車いす、シーティングに経験豊富								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 姿勢と反射についてのメカニズムを理解し、基本的な座位の評価方法ができる。適切な座位と不適切な座位について、座位姿勢を深く理解できる。車椅子の製作に必要な採寸方法の習得。また、座位保持と車椅子生態力学的根拠にもとづく製作理論について理解し、説明が出来る。								
回数	講義内容							
1	姿勢概論							
2	車いす姿勢評価							
3	車いすシーティングとは							
4	すわるって？ 褥創とクッション							
5	グループワーク 普通型車いすの比較							
6	グループワーク プレゼンテーション							
7	車いす適合の基礎知識							
8	適合演習							
9	電動車椅子							
10	高齢者の身体拘束							
11	グループワーク 車いすで遠足							
12	グループワーク まとめ							
13	症例検討会							
14	症例検討会							
15	座位保持装置の基礎知識							
16	製作方法							
17	採型機器の説明							
18	採型デモンストレーション							
19	疾患別アプローチ方法							
20	疾患別アプローチ方法							
21	症例検討会							
22	症例検討会							
23	総括							

2020 年度

授業概要

科目名	車いす・座位保持学			授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年	後期	必修・選択	必修

【 準備学習・時間外学習 】

事前学習：テキスト+配布資料による予習。小テスト。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具のチェックポイント 第7版	日本整形外科学会	医学書院
車いす・シーティングの理論と実践	日本車いすシーティング協会	はる書房
義肢装具学 第4版	川村次郎 他	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

課題評価（出席・レポート・グループワーク・プレゼンテーション・質問）の合計点30%、小テスト35%+終講試験35%